Shokuhin News Neo -2016 December-

神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学専攻 食品・栄養化学研究室 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 自然科学総合研究棟2号館211号室 電話078-803-6553 E-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin



News

応生縦コン

12月2日(金)、応用生命化学コースの縦飲みコンパが開催された。研究室決めを控えた3回生が、各研究室の先生方や学生との交流を通して研究室を知ることのできる機会である。LANSの食堂で1次会が行われたのち、2次会は各研究室で行われる。本研究室は農学部棟の学生室で3回生をもてなした。訪れた3回生は研究内容や実験について質問するなど、真剣に悩む様子が伺えた。



藍原祥子助教(左)と島田龍太郎(B4、 ち)

今年はおでんやお寿司を用意した。お花見以来のおでん作成ということで、慣れた手つきで準備が進められた。前回の経験を活かし煮込み時間を十分取った結果、味の染みたおでんは好評を頂いた。ただ、具材の一つにと購入したウインナーを入れ忘れていた事に気付いたのは翌日である。



2次会中の一コマ。何かがこぼれた瞬間を捉えたようだ。

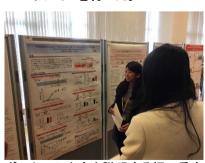
3回生以外にも他の研究室の先生方や学生が訪れ、終始賑やかな場となった。普段研究室が離れている本研究室の学生にとって、他の研究室の学生との交流もでき、楽しい飲み会となったようだ。



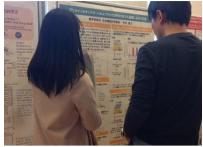
廊下で自作のチャーシューを炙る渡辺衛央(M1、左端)。それを囲むのは奥野葉月(B4,右端)と、有機化学の研究室の学生。左から田口拓実(B4)、小久保奈由美(M1)、小玉彩友美(B4)、伊庭早耶香(B4)。回を重ねるごとに美味しさに磨きがかかるチャーシューに今後も期待したい。

若手フロンティア 研究会2016

12月21日(水)、神戸大学百年記念館のホワイエにて、若手フロンティア研究会2016が開催され、本研究室からは坂口香奈(M2)と中村紫乃(M2)が参加した。神戸大学研究基盤センターが主催となり、センターのアイソトープ部門・機器分析部門・極低温部門・加速器部門を利用して研究を進める多くの学生が参加し、ポスターセッションを行った。



ポスターの内容を説明する坂口香奈 (M2、左)



見に来てくれた方とディスカッションを する中村紫乃(M2、左)

研究基盤センターを利用する学生は農学研究科だけでなく他の研究科の学生も多数を占めるため、研究内容は自然科学系のあらゆる分野に渡る。そのように多岐に渡る分野間での意見交換や交流の場であるこの研究会、参加者は良い刺激を受けることができたのではないだろうか。

忘年会

12月22日(水)、本研究室の忘年会が三宮で行われた。残念ながら全員参加とはならなかったが、記念に撮影した一枚を掲載する。



今年一年お疲れ様でした!!

超大掃除

12月26日(月)、年末の近づくこの日、恒例の超大掃除が行われた。普段は月に一回大掃除は行っているものの、掃除するところは限られている。超大掃除では普

段手を付けないところまで一日かけてじっくりと掃除する。



発泡スチロールは大きくかさばるため、 不必要な分を壊す岸田佳織(M2、左) と吉川啓明(M1、右)。 バキバキと外ま で響く程のすごい音が聞こえてきた。

きれいになった研究室、気持ち良く新年を迎える事ができそうだ。

学会発表

若手フロンティア研究会2016

神戸大学百年記念館

2016年12月21日(水)

〇坂口香奈、橋本堂史、水野雅 史「OVA誘導アレルギーモデルに おける F-フコイダンの抗アレルギ 一効果」概要集 P.38

〇中村紫乃、橋本堂史、網野紗与、水野雅史「アリルイソチオシアネートおよびその代謝物の肝がん細胞に及ぼす影響」概要集P.39

編集後記

2016年は駆け抜けた一年でした。 時間が足りないと感じる日々でしたが、充実していたように思います。2017年は気持ちの面でももう少し余裕を持ち、研究を進めていきたいです。よろしくお願いします。

竹村 有裕美(M1)